



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No.84 2018 年 12 月 発行

〈社会人の窓 4〉

84 歳の私と淀川愛好会・摂南大学とのつながり

村井 勉

20 年ほど前、京大同窓生の澤井先生に淀川愛好会の存在をお聞きしました。今から 60 年前に、卒業実験を京阪電車中書島の今のオープンラボラトリーで従事した身の上につき、淀川に郷愁を感じてお世話になることにしました。

私の生まれ育ちは、淀川の浮遊ゴミの大阪湾漂着先の神戸です。この地域で私の所属は、和田岬の和田神社に先祖祀りをお願いしている氏子、この神社が明治 38 年発会した（現在、明治維新 150 年）神戸史談会の会員、須磨のヨットハーバーの会員（新年の海上安全祈願祭は和田神社が出張）などです。身長 170 cm の巫女さんの初御祈祷の特注を夢見ています。和田神社の由緒は、関ヶ原合戦 1600 年の 58 年後、武庫川流域の大洪水により、神輿が西宮沖に流出、和田岬の砂浜に漂着し、尼崎藩主が神社を創建したことによるそうです。

神戸は、明治時代中頃から労働集約型産業により発展しましたが、産業構造のスクラップアンドビルドに乗り遅れ、若者たちに就職先のない、定着のない都市になっています。最近の伝聞では、沈滞を一掃しようと、新年 2019 年 10 月にイベントとして、JR 神戸線住吉駅南隣の元住吉神社の多数のだんじりと和田神社の親子のだんじりとが、兵庫の津を練るそうです。住吉浜から 700 人が和田岬まで海上渡御です。淀川愛好会の皆様ご参加下さい。私は医療の施術を受けるため、神戸から淀川を遡及して京都に永久定住しました。

摂南大学工学部 6 代目学部長は、合田健先生です。旧制中学神戸二中和京大土木工学科の先輩・先生です。私が 3 回生から 4 回生になる春休みに、先生は学外実習先の割り振りを担当され、私を含む 5 学生が建設途上の東海村日本原子力研究所を希望しました。現地では導水管路ルートの測量を命じられましたが、帰着後に叱責を頂戴しました。出発前に挨拶に来れば、重コンクリートによる放射能遮蔽効果の調査を命じたのに。残念！

合田先生は、神戸の名刹の近隣で育ったせいか、般若心経の現代的解釈論（この世の始まりから終末まで）を水道協会誌に発表との記事を見ました。工学部長退任後です。

ところで、私は毎月 1、2 回マイカーで、京都の仮住まいを夜明けに出発、西へ 110km、妻の留守宅を点検、東に 50km 戻り、神戸市内で墓苑、阪神大震災の宅地跡、鉄道高架下の借り倉庫、妻の介護施設などを訪問します。その後、東に 60km の地元京都に戻り、夕方には伏見港公園水泳プールに入り、をどり体操用の足腰筋トレ水中歩行訓練をします。水泳プール通い連続 1 か月半の成果は、古い歌ですが、北原謙二の「若いふたり」3 番にある「昨日も今日もはずむ足」に到達回復できました。反対車線のバス停に行く歩道橋越えが苦しくて、絶望感がつのっていましたが、足の裏、ふくらはぎ、太もも、腰などの筋肉強化ができ、解消しました。

（淀川愛好会会員、有限会社ムライ立駐 代表取締役）

イベント報告

2018 年度 第2回 寝屋川再生ワークショップ



10月14日(土)に寝屋川市役所で寝屋川再生ワークショップが行われました。寝屋川市水辺整備基本構想の改訂点の説明を寝屋川市職員が行い、それに対しての意見などを班ごとに分かれて、ポストイットに意見を書きあいながら、現状についての議論を行いました。最後には、各自で代表者を決めて、班での意見を要約して発表を行いました。(M・K)

第8回 川の恵みを活かすフォーラム

10月27日(土) 午前10時～午後4時に京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーで川の恵みを活かす報告会が行われました。主に川の恵みと河口のつながりをテーマにし、近況報告や改善方法などを話し合いました。11月4日(日)に同じ場所で、川の恵みを活かす食味会が行われました。色々な川から採れた鮎やビワマス、鯉、淀川河口で採れたシラス、天然ウナギなど多くの魚を食べ、自然の恵みに感謝を感じることができました。(M・D)



第10回 点野水辺づくりワークショップ in 宝が池プレイパーク



10月28日(日)に淀川河川事務所主催の点野水辺づくりワークショップの一環として、京都市左京区の宝が池公園で見学と討論が行われました。前半は、宝が池公園を管理している「宝が池の森」保全再生協議会の方による宝が池公園の運営や管理などの説明と施設見学を行いました。後半は協議会の方を交え「どのように管理すれば再整備後の点野砂州をオープンスペースにして自由かつ安全に利用できるのか」などの議論が交わされました。(Y・M)

2018 クリーンリバー寝屋川作戦・秋

11月11日(日)に、クリーンリバー寝屋川作戦・秋に参加しました。春に続いて、萱島信和町(萱島駅近く)での参加となりましたが、今回は水が濁っていたため、いつものほどのゴミを拾うことができず、残念でした。一部の胴長に穴が空いており、ハブニングもありましたが、誰も怪我することなく終わって良かったです。今回思うように拾えなかった分、次回川を掃除するときは倍以上拾う気持ちで頑張りたいと思います。(M・H)

京都水辺保全ネットワーク研修会 巨椋池流域見聞

11月18日(日)、淀川愛好会秋のイベントとして、巨椋池流域見聞に参加しました。さくらであい館から天ヶ瀬ダム(宇治川)、流れ橋(木津川)、羽束師橋(桂川)をバスで見学した後、京都大学防災研究所内の巨椋池流域模型ビオトープを見学し、討論を行いました。流域の歴史、現在のつくりなどを見て聞いて学ぶことができた、充実した1日でした。(M・H)

第11回 茨田イチョウまつり

9月4日(火)、台風21号が近畿地方に直撃し、茨田樋遺跡水辺公園でも開催が危ぶまれるほどの大きな被害を受けました。しかし、11月23日(金)のイチョウ祭りには167名の参加がありました。Eボートの乗船客は少なかったですが、乗船者や、石ころアート、点野玉づくり、芝人形づくり、ヨシ工作などの各体験ブースからは楽しげな声が聞こえてきました。お昼にはイモご飯、豚汁、焼ギンナン、ふかしイモ、アルファ化米を食べて暖まりました。多くの団体が参加して、良い交流の場となりました。(T・T)



今後のイベント詳細

淀川愛好会 総会・新年会 2019

日時： 2019 年 1 月 12 日（土） 18 時～20 時

場所： 和風居酒屋「安兵衛」
（No. 81 での案内とは変更されていますので、
ご注意ください。）
京阪 寝屋川市駅南口から西に約 100 メートル
電話：072-883-0993

会費： 3000 円

申し込み先： 淀川愛好会事務局

申し込み締切：2019 年 1 月 5 日（土）



第3回 近畿河川フォーラム 兼 第21回 淀川討論会

「大きな脅威 マイクロプラスチック問題を考える ー私たちにできることー」

日時 2019 年 2 月 23 日（土） 第一部 14:00～17:00 第二部 17:30～19:00

場所 摂南大学寝屋川キャンパス 13 号館 2 階コミュニティールーム

プログラム

- 14:00～ 開会あいさつ 淀川愛好会会長 澤井 健二
- 14:05～ 河川協力団体全国協議会の動き 山道 省三
- 14:15～ 国土交通省近畿地方整備局からの情報提供 河川協力団体の動向
- 14:30～ 基調講演 講師：関西広域連合 上坂昇治
- 15:30～ 質疑
- 15:50～ 休憩
- 16:00～ 話題提供・意見交換
- 17:00～17:15 みんなで歌おう川の歌
- 17:30～19:00 懇親会（同じ会場にて）

主催：近畿水環境交流会・河川フォーラム実行委員会

申し込み締め切り：2019 年 2 月 8 日（土）（懇親会費用 3000 円）

申し込み先 淀川愛好会事務局

または、BY ネット事務局 担当：丸井（NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議内）

〒573-0042 枚方市村野西町 5-1 サプリ村野 南館 2F

[Tel:072-847-2286](tel:072-847-2286) FAX:072-807-7873 E-mail:jimukyoku@bynet-r.com

経験から得たもの

塩田 高大

私とエコシビル部の出会いは、摂南大学二回生の秋で、友人からの勧誘がきっかけでした。途中から入部したのもあり、活動内容や目的など、わからないことばかりでしたが、先輩方や顧問の石田先生の教えを受け、要領を掴み、エコシビル部の成り立ちや存在理由を知ることができました。それから数ヶ月が経ち、私が三回生になる頃にはエコシビル部の部長を務めることになりました。急なこともあり、正直私には荷が重いのではないかと不安を抱いていましたが、務める以上半端なことではできないと自分を奮い立たせ、部活動への意欲を高めました。知らない事ばかりで逃げ出したくなることもありましたが、任されたという責任感を持ち、先輩方・後輩たちの協力のおかげで、部員への指示や用具の準備、活動の進行など、最近になってやっとエコシビル部部長として一人前になれたと感ずることができました。

部長を務めた事で、部員への気配りの仕方や活動を企画して下さる社会人の方々との関わり方、学生課等に提出する書類の作成の仕方など、将来に繋がることも学ばせていただきました。またエコシビル部員としても、淀川の生態系や大学を含めた寝屋川市内と河川との関係性、河川環境保全を行う上での地域住民の重要性などを学べ、楽しく部活動をしながらこういった発見ができるエコシビル部がこれからも続いて欲しいと感じました。

最後に、部活動を通して以上のような経験をしたことで、リーダーシップや積極性、コミュニケーション力を高めることができ、私自身の成長に繋がりました。これらを生かし、社会人として良いスタートダッシュができるよう、これからも精進していきたいと思います。

(摂南大学都市環境工学科 3 回生 エコシビル部部長)

編集後記

この度、前編集長の相本太刀夫氏が突然辞任され、入れ替わって岡崎善久が編集を担当する運びと成りました。皆さんの温かいご協力とご支援をお願い申し上げます。

師走に入り、編集会議のさなか、社会的共通資本である通信と水の双方の社会問題が生じました。一つ目は、ソフトバンクが世間に多大な迷惑をかけた通信障害。二つ目は、水道法改正案が国会で成立したこと。川で学ぶ我々は水について考えてみたい思いを強くしました。生きるための必要とする水。今後は「民営化」できる水道法改正案を世間のひとたちがどのように感じ考え判断しているのだろうか。水を安定的に維持、管理されて供給されることがいい国の制度であります。高度成長期に敷設された施設や水道管は耐用年数（40 年）を迎えており、その割合が 15%、資金不足になるというのが政府の見解であります。

そして、明治維新と戦後の 2 度にわたり西洋文化を取り入れた新しい日本、歴史的にみて江戸時代の風土や自然や仕組みとしての人間と自然に対する社会観を、この国のかたちをもう一度みなで再考すべきかなあと存じます。おこらないはずのことがおきてしまう世の中。3.11 に起こってしまった原発事故。光と翳。このような事態にならないことをこころより希望します。

最後に、6 年間、編集長として務められた感謝と相本太刀夫さんの一日も早く快方に向かわれることを心より御祈り申し上げます。

編集長 岡崎善久（岡崎善久建築設計事務所）

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

TEL/FAX：072-839-9125

HP：http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric

E-mail：ishida@civ.setsunan.ac.jp
